

# あいち

## 電気工事業界報



名古屋城

NO. 162

2022.1

# 組合員事業所のご紹介

## 女性活躍の事業所紹介

### 私と江川電気工事

江川電気工事株式会社  
代表取締役社長 三輪 文江

組合員の皆様には初めてお目にかかる方が多いとは思いますが江川電気工事の三輪です。  
我が社は創業68年になります。何と私の年と同じなのです。私が成長すると共に歩んできた会社です。

弊社が電気工事店を営むきっかけは、私の祖父の時代まで遡ります。祖父は岡山の生まれで次男だったので、父親から東京で勉強しろと言われ夜間の大学へ行きました。たまたま卒業時に教授に就職の相談をしたら私は中部電力に行くが君も一緒に来ると言われ、又父から今後は電気の時代が来るといふ勧めもあり、名古屋へ来ました。

祖父は晩年には所長まで出世し、当時は家を数軒買える程の退職金を頂いたのですが、満州鉄道の株を全額購入したのですが、戦後紙くずとなり電気工事業になったということでした。

父は戦後そんな状態でしたので、やはり次男ということもあり色々あって祖父を手伝い現在に至る訳です。

現在、我が社のお得意様である会社を、当時まだ車のない頃りヤカーで回って仕事を頂いていました。それらの会社は、今もお付き合いさせて頂いています。

父はA型で仕事に一途な性格だったので、それも評価され今まで続いた理由ではないでしょうか。これからも愛される会社を目指して続けていければと思います。

宜しくお願い致します。

### 経験が生きる

有限会社高間電気商会  
小林 順子

父である会長が起こした会社でアルバイト的な感覚で手伝いを初めてから、なんやかんやとあって気づけば二十年ほどこの会社に在籍しています。そんなに経過しているとは思わないのですが月日は早いものです。

現場に出ている頃は脚立やスライド梯子に昇るのが苦手でした、そうです高所恐怖症なのです。脚立に乗って作業するときにはっきり真下を見てしまうと膝が震え心臓がドキドキしました。工具を握りなるべく早く作業を終え下に降りたいと考えて施工をしていました。だから高いところが得意な人が今でもうらやましいと思います。どうしたら高い場所が平気になるのか、いまだにわからないままです。

最近現場に出ることも多くなく、資材管理と設計をメインに電気工事に携わっています。図面に照明や設備を想定して設計することは、現場に出ていることがとても生かされるなあ毎回感じます。